

(表)

様式第1 (第7条関係)

年 月 日

(あて先) 東大阪市長

住 所

氏 名 ㊟

(電話))

指 定 工 場 等 設 置 許 可 申 請 書

東大阪市長生活環境保全等に関する条例第28条第1項の規定により、許可を受けたいので、関係書類を添えて、次のとおり申請します。

指定工場等	名 称			
	所 在 地	東大阪市		
用 途 地 域		排 水 等	<input type="checkbox"/> 公共下水道 <input type="checkbox"/> その他 ()	
業 種				
主 要 生 産 品 目				
資 本 金	円	作 業 時 間	時 分 から 時 分 まで	
自動車の出入口が接する道路の幅員	m	50メートル以内の学校・病院の所在の有無	有 () ・ 無	
従 業 員 数	人	公害防止担当部課名 (責任者氏名)	()	
工事着工予定日		工事完成予定日		
※許可申請手数料欄	申請1件につき.....2,000円 特定施設1件につき1,000円× 件= 円		合計	円
申 請 書 取 扱 者	住 所	電話番号		
	氏 名	(担当)		

備考 1 ※印の欄には記入しないこと。

2 「用途地域」とは、都市計画法第8条第1項第1号の規定による「用途地域」をいう。

3 「業種」欄には、日本標準産業分類のうち、中分類に該当する業種又はこれに準ずる業種を記入すること。

4 「公害防止担当部課名」欄の「(責任者氏名)」には、公害防止管理者を置いている工場にあっては、公害防止管理者の氏名を記入すること。

(裏)

敷地・建物の状況	建物の配置			敷地面積				m ²	
	番号								
	用途								
	階数								
	構造								
	建築面積		m ²		m ²		m ²		m ²
	床面積		m ²		m ²		m ²		m ²
作業場面積		m ²		m ²		m ²		m ²	
施設	施設番号								
	種類								
	公称能力								
	動力(kw)								
	台数								
	構造・配置 ・使用方法								
動力用電力		総用水量		取水方法			総排水量		
		m ³ /日					m ³ /日		
燃料使用量	(A、B、C)重油		()ガス		灯油		その他		
	リットル/日		m ³ /日 kg/日		リットル/日				
作業の工程									
屋外作業									
産業廃棄物の処理概要									

施 設							
	工場等における施設番号						
	種 類						
	公 称 能 力						
	動 力 (k w)						
	台 数						
	構造・配置・作業 の種類及び方法 公害防止の方法						

施 設							
	工場等における施設番号						
	種 類						
	公 称 能 力						
	動 力 (k w)						
	台 数						
	構造・配置・作業 の種類及び方法 公害防止の方法						

施 設							
	工場等における施設番号						
	種 類						
	公 称 能 力						
	動 力 (k w)						
	台 数						
	構造・配置・作業 の種類及び方法 公害防止の方法						

騒音又は振動発生施設

騒音振動関係別紙（１）

施 設 番 号						
種 類						
型 式						
動 力						
台 数						
使用開始予定年月日						
使 用 状 況	時～ 時 回/日	時～ 時 回/日	時～ 時 回/日	時～ 時 回/日	時～ 時 回/日	時～ 時 回/日
使 用 材 料						
騒音レベル(デシベル)						
振動レベル(デシベル)						

「騒音又は振動防止の方法」

- 備考 1. 「騒音又は振動防止の方法」の欄には消音器、吊り基礎、遮音塀等、騒音又は振動の防止に関して講ずる措置を記入のこと。できる限り図面、表等を利用すること。
2. 騒音レベル、振動レベルは原則として施設より1mの地点の最大値とする。

その他の騒音又は振動発生施設

騒音振動関係別紙（2）

(Ⅰ) 倉庫	施設番号					
	面積					
	収容内容					
	使用状況	使用時間	時～ 時	時～ 時	時～ 時	時～ 時
		出入回数等	回/日	回/日	回/日	回/日
(Ⅱ) 材料置場	施設番号					
	面積					
	収容内容					
	使用状況	使用時間	時～ 時	時～ 時	時～ 時	時～ 時
		出入回数等	回/日	回/日	回/日	回/日
(Ⅲ) 自動車駐車場	施設番号					
	面積					
	収容台数					
	使用状況	使用時間	時～ 時	時～ 時	時～ 時	時～ 時
		出入回数等	回/日	回/日	回/日	回/日
「騒音又は振動防止の方法」						
備考 「騒音又は振動防止の方法」欄には騒音又は振動の防止に関して講ずる措置を記入のこと。できる限り、図面、表等を利用すること。						

(大気別紙1)

特定施設 の構造・ 規模	施設番号					
	名称及び型式					
	設置年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	着手(予定)年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	伝熱又は火格子又は羽口断面積(m ²)					
	燃料の燃焼能力(重油換算 ℓ/時)					
	原料処理能力又は燃焼能力(kg/時)					
	変圧器又は原動機の定格能力(Kw)					
使用 及び 管理 の 方 法	使用状況：使用時間 季節変動等		: ~ :	: ~ :	: ~ :	
			時間/回 回/日	時間/回 回/日	時間/回 回/日	
	原 材 料	種 類				
		原料中の成分割合 (%)				
		沸点又は5%留出点(°C)				
		最大溶剤含有率 (%)				
		1日の使用量				
	製 造 後 の 物 質	種 類				
		生成割合				
		沸点又は5%留出点(°C)				
	燃 料 又 は 電 力	種 類 及 び 比 重				
		燃料中の成分割合 (%)				
		発熱量(kcal/kg, Nm ³)				
		通常使用量(ℓ/時, Nm ³ /時, Kw/時)				
	排出ガス量(Nm ³ /時)		湿り			
乾き						
排出ガス中の酸素濃度 (%)						

洗濯業のドライクリー ニングの洗濯能力	洗浄剤の種類	石油系溶剤	テトラクロエチレン	合計
	洗濯能力(kg/回)			

燃料小売業のガソリン用 地下タンク (仕切がある場合は部分/全体で)	地下タンクの番号					合計
	容量(kℓ)					

(大気別紙2)

ばい煙又は粉じんの処理の方法	処理施設の番号					
	処理に係る特定施設等の番号					
	処理施設の名称及び型式					
	設置(着手・変更)(予定)年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	圧力損失及び使用水量					
	風量又は排出ガス量 (Nm ³ /時)					
	排出ガス温度 (°C)					
	ばい煙等の濃度	ばいじん g/Nm ³	処理前	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
			処理後	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
			処理効率			
		窒素酸化物 ppm	処理前	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
			処理後	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)	(O ₂ = %)
			処理効率			
			処理前			
			処理後			
処理効率						
		処理前				
		処理後				
		処理効率				
ばい煙量	硫黄酸化物 Nm ³ /時	処理前				
		処理後				
排出口の実高さ H o		m	m	m		
頂上の形状, 口径 D		m	m	m		
陣笠の有無		有 無	有 無	有 無		
排出口の中心からその至近距離にある敷地境界線までの水平距離 (m)		m	m	m		
その他の防止の方法						
排出口中心から至近距離にある他人の所有する建築物の実高さ h(m)及び水平距離 d (m)		h = m d = m	h = m d = m	h = m d = m		
ばい煙測定口の有無及び口径		有(D = mm) 無	有(D = mm) 無	有(D = mm) 無		

添付書類	I 申請に係る特定施設等の配置図、構造概要図 ①主要寸法を明記したもの ②液体燃料は採取場所を明示したもの
	II フード等の構造概要図 ①主要寸法を明記したもの ②特定施設との関連が明らかなもの
	III ばい煙、粉じんの処理施設の構造概要図 ①主要寸法を明記したもの ②排出濃度測定口位置を明示したもの ③仕様書等により性能を明らかにしたもの
	IV ばい煙、粉じんの濃度測定データ (記入数値の根拠)
	V 燃料の成分表
	VI 原材料の成分表

(水質別紙1)

特 定 施 設 の 構 造	施 設 の 名 称			
	事業場内の施設番号			
	型 式			
	構 造			
	主 要 寸 法			
	能 力			
	着 工(予定)年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	完 成(予定)年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
	使用開始(予定)年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 の 方 法	1 日 の 使 用 時 間	時から 時まで	時から 時まで	時から 時まで
	季 節 変 動	有 無	有 無	有 無
	原材料の種類・使用 方法及び1日あたり の使用量			
	廃 液 の 分 離 方 法			
	使用時の汚水量及び 水質	別図 のとおり	別図 のとおり	別図 のとおり
	そ の 他			

備考

1. 施設の図面には、主要寸法・能力を明記すること。
2. 作業工程図には、使用時の汚水量及び水質・使用薬品の量をかねて記入してもよい。
3. 施設の配置図には、施設番号を明記すること。

(水質別紙2)

汚水等の処理の方法	処理施設の名称											
	設置(変更)年月日			年 月 日								
	汚水処理施設の種類、形式、構造、能力及び処理の方法											
	汚水処理施設の使用時間			時から 時まで								
	汚水等の処理に要する消耗資材の1日あたり用途別使用											
	残査の量及びその処理方法											
	公共用水域への排出方法											
	その他											
排水の汚染状態及び量	排水口		排水量 m ³ /日	項目								備考
				pH								
	変更前	平均										
			最大									
		最大										
	変更後	平均										
			最大									
		最大										
	変更前	平均										
			最大									
		最大										
	変更後	平均										
			最大									
最大												
総合	変更前	平均										
		最大										
	変更後	平均										
		最大										

備考

1. 用排水系統図には、汚水の集水及び導水方法・処理前後の水量及び水質を明記すること。
2. 汚水処理施設の構造概要図には、測定データ・主要寸法を明記すること。

(水質別紙3)

耐 酸 施 工 法 に つ い て	着工予定年月日		年	月	日	
	完成予定年月日		年	月	日	
	施 工 面 積		m ²			
	基礎工事の有無		有 無 (無の場合の理由)			
	基礎表面材質					
	ラ イ ニ ン グ	ライニング主材料				
		主材料の品質				
		硬化剤の名称				
		副資材の名称				
		ライニングの厚み				
その他の耐酸施工について 参考となるべき事項						
備 考						

備考

1. 施工部分の平面・断面図には、厚み・構造・寸法を明記すること。